

第 119 回 男女共同参画会議 女性に対する暴力に関する専門調査会
議事要旨

(開催要領)

- 1 日 時 令和 4 年 10 月 12 日 (水) 17:50~18:05
- 2 場 所 中央合同庁舎第 8 号館 5 階共用会議室 C (WEB 会議システムを利用)

- 3 出席者
会 長 小西 聖子 武蔵野大学副学長・人間科学部教授
委 員 浦 尚子 公益社団法人福岡犯罪被害者支援センター理事長
同 可児 康則 弁護士・名古屋第一法律事務所
同 北仲 千里 広島大学ハラスメント相談室准教授、NPO 法人全国女性シェルターネット共同代表
同 窪田 充見 神戸大学大学院法学研究科教授
同 後藤 弘子 千葉大学大学院社会科学研究院教授
同 種部 恭子 医療法人社団藤聖会女性クリニック We!TOYAMA 代表
同 中村 正 立命館大学大学院人間科学研究科教授
同 納米恵美子 全国女性会館協議会代表理事
同 渡邊 正樹 東京学芸大学教職大学院教授

(議事次第)

- 1 開 会
- 2 議 事
配偶者暴力防止法見直し検討ワーキング・グループ報告書について
- 3 閉 会

(配布資料)

- 資料 1 DV 対策の抜本的強化に向けて 概要
- 資料 2 配偶者暴力防止法見直し検討ワーキング・グループ報告書「DV 対策の抜本的強化に向けて」
- 参考資料 1 配偶者暴力相談支援センター・民間シェルター等へのアンケートを踏まえた生活再建支援の際の手続の見直し等に関する論点 (概要)
- 参考資料 2 配偶者暴力相談支援センター・民間シェルター等へのアンケートを踏まえた生活再建支援の際の手続の見直し等に関する論点について
- 参考資料 3 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律

(議事概要)

- 配偶者暴力防止法見直し検討ワーキング・グループ報告書「DV 対策の抜本的強化に向けて」

について、内閣府からの説明の後、専門調査会として了承された。

- 小西会長より小倉内閣府特命担当大臣（男女共同参画）に報告書が手交され、小倉大臣から、本報告書をしっかりと受け止め、配偶者暴力防止法見直しについて、来年の通常国会への提出も念頭に、必要な法制化の作用を進めていく旨の発言があった。